

普及現地情報

発信年月日:令和6年(2024年)10月25日
所属名:東近江農産普及課東部
番号:D24013
発信者名:猪田、次世代支援チーム



タマネギの直は栽培の播種機の実演会を開催しました

東近江地域では、令和7年秋から大規模国営ほ場整備事業が開始されるにあたり、タマネギを高収益作物と位置づけ面積拡大を図っているところです。

東近江管内では、一昨年から、育苗の省力化を目的とした直は栽培に取り組んでおり、本県のタマネギの目標収量である5t/10aを目指せる技術となってきました。そこで、当技術を広く生産者に知ってもらうため、今年是新稲作研究会の事業を活用し、10月1日に東近江市林田町のほ場にて、実演会を開催しました。集落営農法人をはじめとした生産者や関係機関約40名が参加され、直は栽培技術に対する期待の大きさがうかがえました。

昨年は、播種直前の降雨により土壌水分が高く播種日が遅れたため、今作は水稻収穫後に、サブソイラーや額縁明渠、ディスクロータリーといった排水対策を施したあと、(株)ヤンマーの協力のもと、施肥・うね立て同時播種の機械化一貫体系で行いました。また、直は栽培の問題点とされる、苗立ち率の向上のためにもみがら散布機についても実演しました。

今後は、春先からの除草対策について、農業技術振興センターや関係機関と連携し、タマネギの直は栽培の技術確立に向けた検証を行っていきます。



写真1 直は栽培についての説明状況



写真2 機械実演の様子